



2026年3月期

株式会社 FUJII 決算説明 及び 中期経営計画2年目振り返り

2026年5月 | 東証プライム・名証プレミア 証券コード：6134

本資料に含まれる全ての内容の著作権は当社に帰属します。当社の許可無く、掲載内容の一部またはすべてを複製、転載する事を禁止します。

# 目次

- 01 | 2026年3月期 決算概要
- 02 | 2027年3月期 通期業績予想
- 03 | 中期経営計画 2年目振り返り
- 04 | Appendix

# 01 | 2026年3月期 決算概要



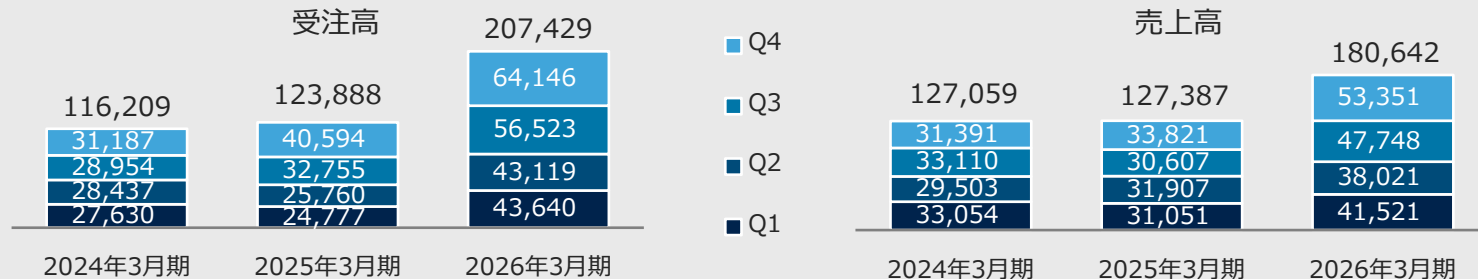


# 2026年3月期 業績

- 受注高・売上高・営業利益・経常利益はいずれも過去最高
- 当期純利益はファスフォードテクノロジーにおけるのれん等の減損損失9,691百万円を計上

(百万円)

	2025年3月期実績	2026年3月期実績	対前年	
			増減額	増減率
受注高	123,888	207,429	+83,541	+67.4%
売上高	127,387	180,642	+53,255	+41.8%
営業利益	13,781	29,282	+15,501	+112.5%
経常利益	15,328	31,291	+15,962	+104.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,906	15,733	+4,826	+44.3%



# 営業利益増減分析



# B/Sサマリー

- 受取手形及び売掛金・棚卸資産の増加、のれんの減少により、資産合計は +34,067百万円
- 未払法人税等・支払手形及び買掛金の増加により、負債合計は +20,295百万円
- 利益剰余金の増加により、純資産合計は +13,772百万円

(百万円)

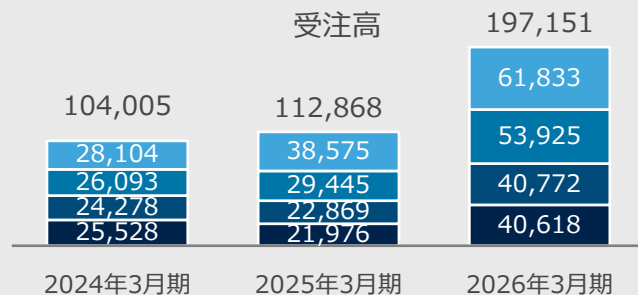
	2025年3月31日	2026年3月31日	対前期増減額	増減要因など
流動資産	155,427	195,507	+40,079	受取手形及び売掛金 +30,543 棚卸資産 +10,914
固定資産	88,862	82,849	-6,012	のれん -8,087 退職給付に係る資産 +2,048
資産合計	244,289	278,356	+34,067	
流動負債	22,256	43,382	+21,126	未払法人税等 +7,440 支払手形及び買掛金 +6,977 前受金及び預り金 +5,482
固定負債	3,350	2,519	-831	
負債合計	25,606	45,902	+20,295	
純資産合計	218,682	232,454	+13,772	利益剰余金 +8,657 為替換算調整勘定 +4,187
負債純資産合計	244,289	278,356	+34,067	

# ロボットソリューション事業 業績

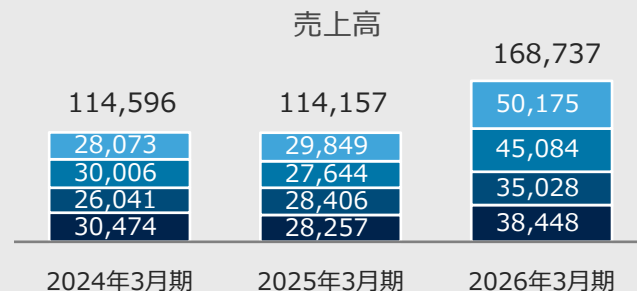
- 受注高・売上高・営業利益のいずれも過去最高
- AIサーバー関連の需要が業績をけん引

(百万円)

	2025年3月期実績	2026年3月期実績	対前年	
			増減額	増減率
受注高	112,868	197,151	+84,283	+74.7%
売上高	114,157	168,737	+54,580	+47.8%
営業利益	16,349	33,623	+17,273	+105.7%
受注残高	33,246	61,660	+28,413	+85.5%



■ Q4  
■ Q3  
■ Q2  
■ Q1



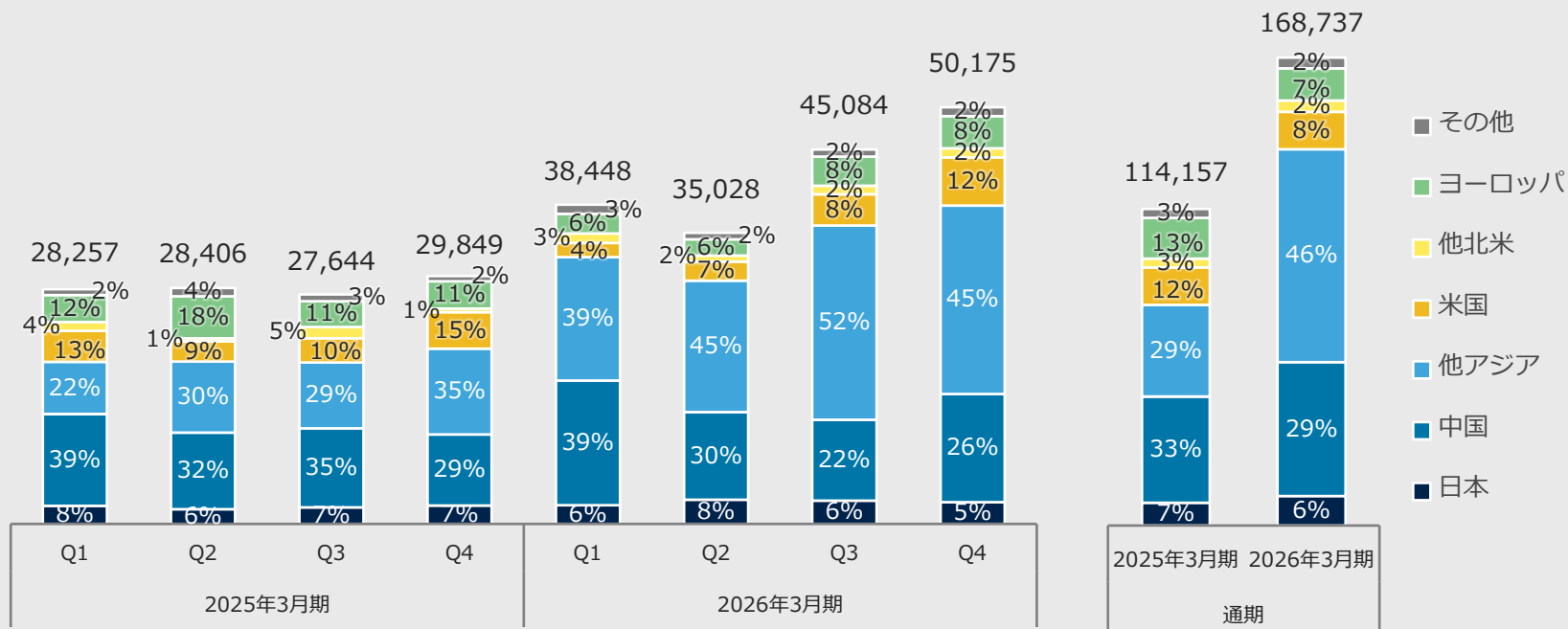


# ロボットソリューション事業 地域別売上高

QoQ

- 中国：通信・車載向け需要は一服感が継続しているものの、ダイボンド需要が回復
- 他アジア：タイ・インドを中心に、AIサーバー関連の需要が高水準で推移

(百万円)



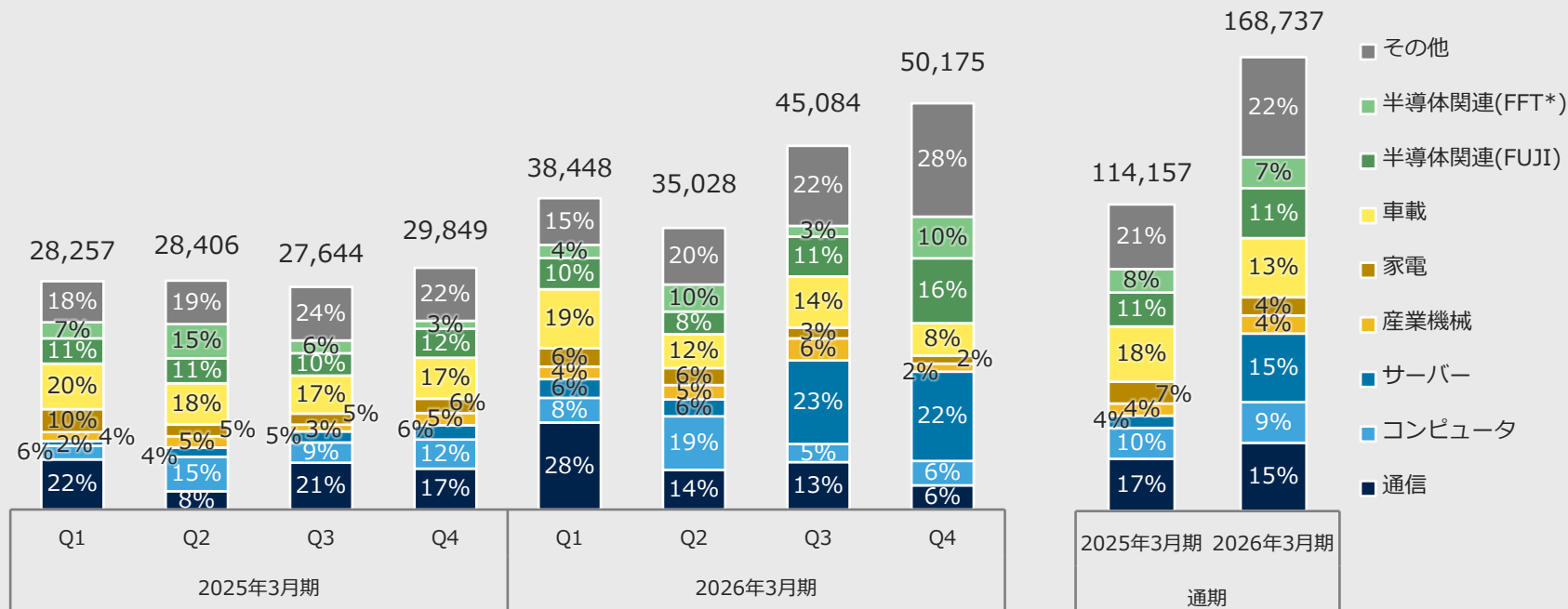




# ロボットソリューション事業 業種別売上高

QoQ

- サーバー、その他（サーバー用電源含む）：アジア地域を中心にAIサーバー関連需要が継続
  - 半導体関連：中国での汎用メモリ需要増に加え、モジュール部品やSiP領域において市況の好転及び顧客層が拡大
- (百万円)



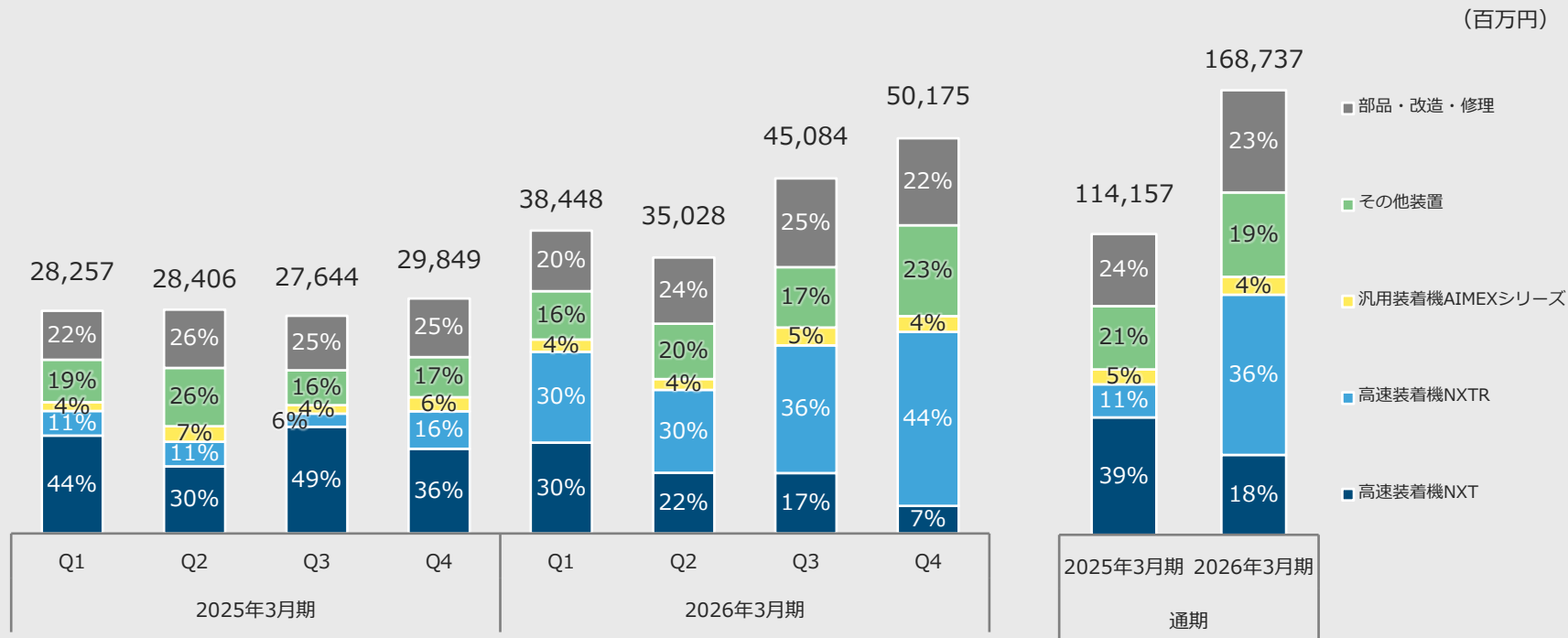
\* FFT：ファスフォードテクノロジー



# ロボットソリューション事業 機種別売上高

QoQ

■ NXTは2026年3月をもって完売、高速装着機はNXTRの販売に一本化



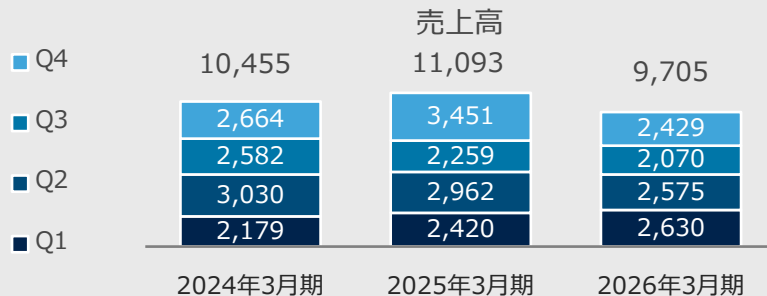
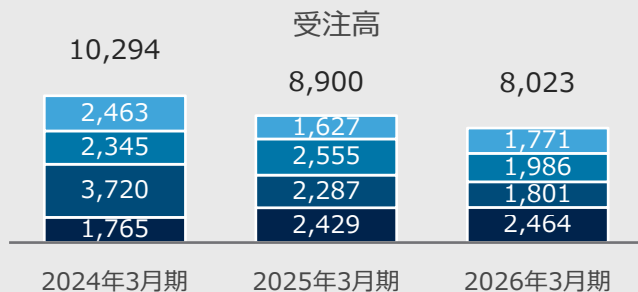


# マシンツール事業 業績

■ 自動車向け設備投資需要が低調に推移し、2年ぶりに赤字計上

(百万円)

	2025年3月期実績	2026年3月期実績	対前年	
			増減額	増減率
受注高	8,900	8,023	-877	-9.9%
売上高	11,093	9,705	-1,388	-12.5%
営業利益	740	-107	-847	-
受注残高	4,825	3,143	-1,681	-34.9%



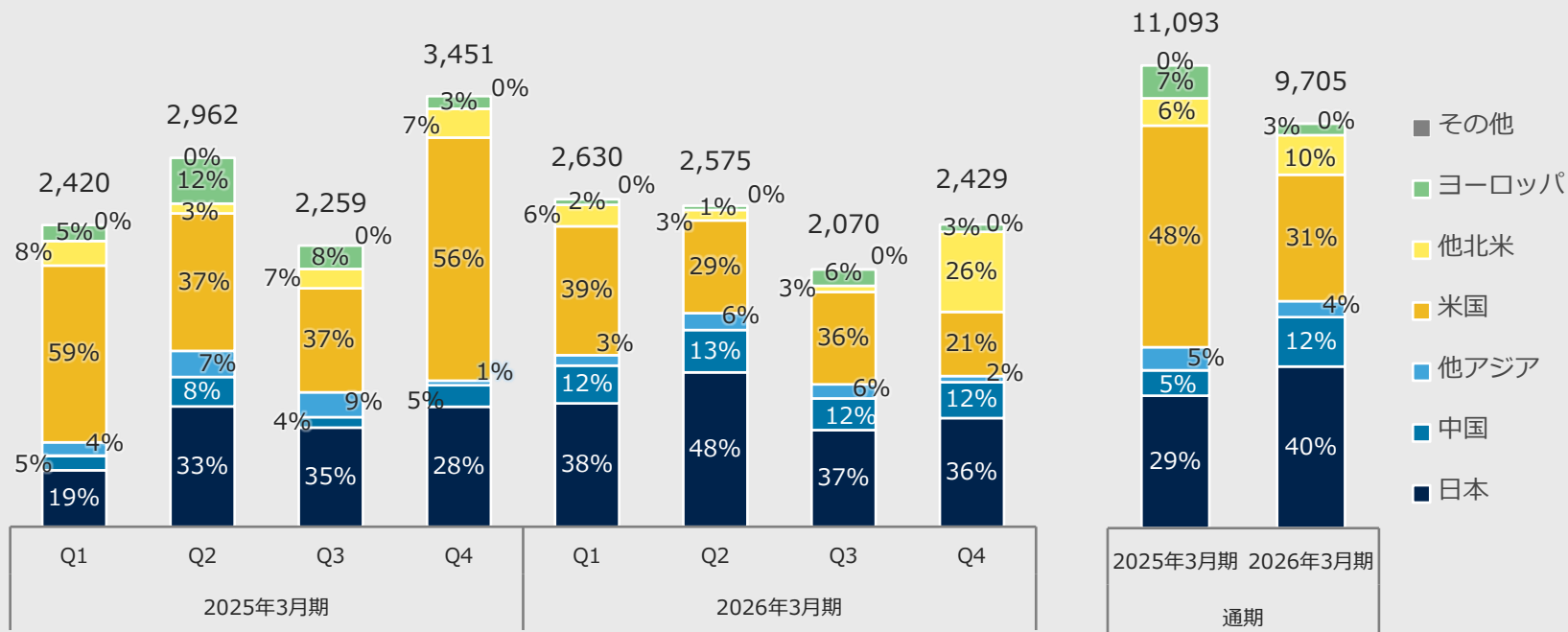


# マシンツール事業 地域別売上高

QoQ

■ 他北米：メキシコでデフケース向け案件

(百万円)



# 02 | 2027年3月期 通期業績予想



# 業績予想

- AIサーバー関連、半導体関連の継続的な需要を見込み、増収増益予想
- 中東情勢の影響については、現時点において想定できる範囲の影響額を織り込む

(百万円)

	2026年3月期 通期実績	2027年3月期予想			
		上期予想	通期予想	対前期実績	
				増減額	増減率
受注高	207,429	115,500	211,000	+3,570	+1.7%
売上高	180,642	112,000	211,000	+30,357	+16.8%
営業利益	29,282	24,900	43,600	+14,317	+48.9%
営業利益率	16.2%	22.2%	20.7%	—	—
経常利益	31,291	25,300	44,300	+13,008	+41.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,733	19,400	33,000	+17,266	+109.7%
<参考情報>					
設備投資額	11,577	6,400	11,600	+22	+0.2%
減価償却費	9,508	4,800	10,200	+691	+7.3%
研究開発費	8,514	4,100	8,400	-114	-1.3%



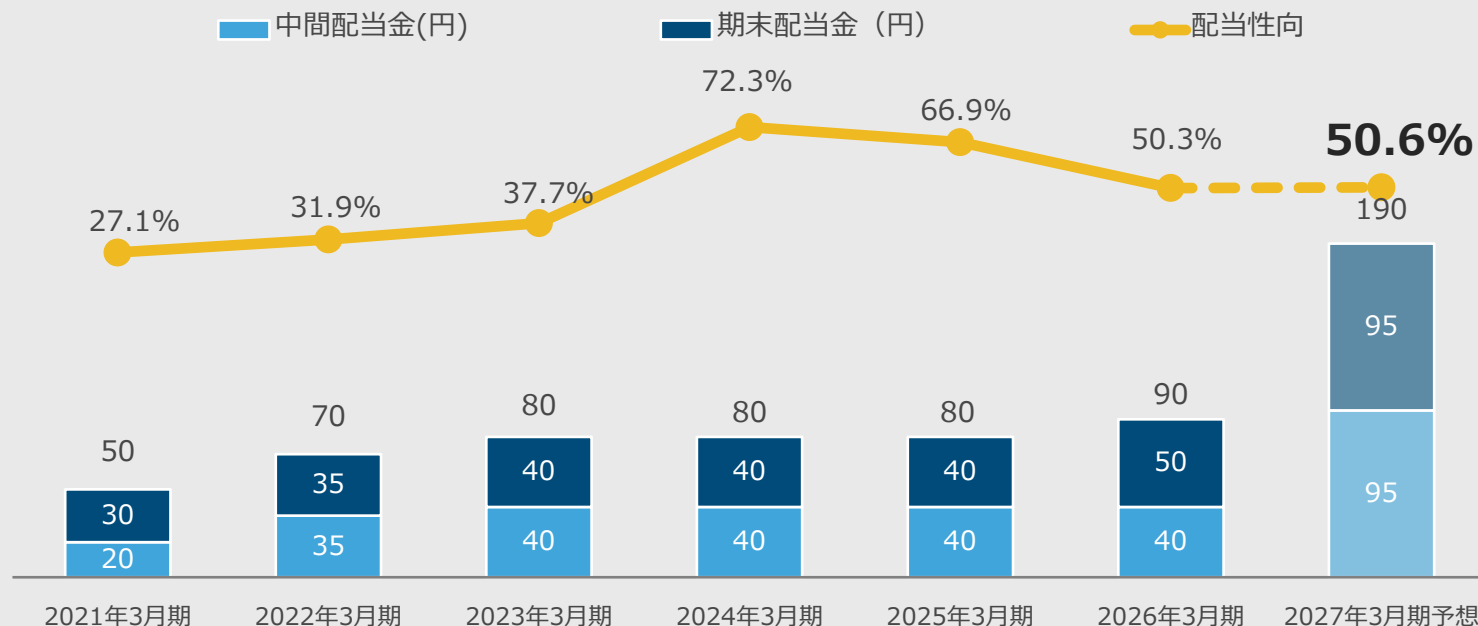
# セグメント別 受注・売上通期予想

(百万円)

		2026年3月期 通期実績	2027年3月期予想			
			上期予想	通期予想	対前期実績	
					増減額	増減率
 ロボット ソリューション 事業	受注高	197,151	110,000	200,000	+2,848	+1.4%
	売上高	168,737	107,000	200,000	+31,262	+18.5%
	受注残	61,660	64,660	61,660	±0	-
 マシンツール 事業	受注高	8,023	4,500	9,000	+976	+12.2%
	売上高	9,705	4,000	9,000	-705	-7.3%
	受注残	3,143	3,643	3,143	±0	-
 その他 事業	受注高	2,255	1,000	2,000	-255	-11.3%
	売上高	2,199	1,000	2,000	-199	-9.1%
	受注残	329	329	329	±0	-
合計	受注高	207,429	115,500	211,000	+3,570	+1.7%
	売上高	180,642	112,000	211,000	+30,357	+16.8%
	受注残	65,133	68,633	65,133	±0	-

# 配当金

- 2026年3月期 期末配当金を40円から50円へ
- 「配当性向50%以上、年間配当金下限80円」という方針に基づき、2027年3月期年間配当金については190円の予定



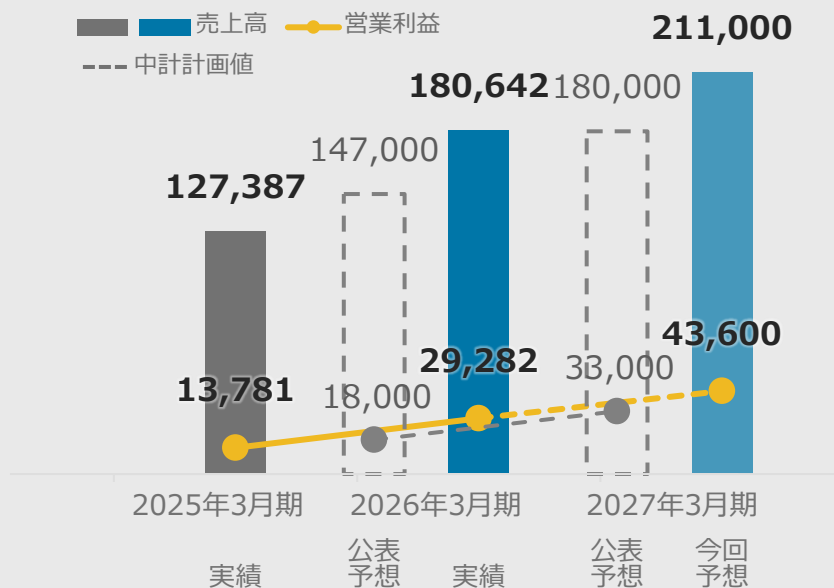
# 03 | 中期経営計画 2年目振り返り



# 中計最終年度を迎えるにあたって

- 2年目で中期経営計画の売上高180,000百万円を達成、  
最終年度の今期は計画値を大きく超える予想

売上高・営業利益推移（百万円）



- ・ロボットソリューション：  
AIサーバー関連・半導体（SiP・モジュール部品）  
需要を捉え、売上拡大
- ・セミコン：  
汎用メモリ向けダイボンド市場回復
- ・マシンツール：  
収益性改善し再び黒字化へ  
（ターンキーソリューション、保守・改造へ注力）

# 電子部品実装ロボット（マウンター）

## 市場環境と成長戦略

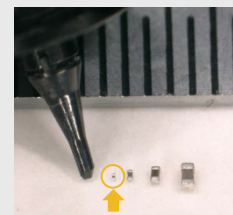
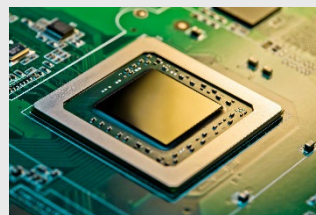
- 市場環境：AI関連需要増加  
（データセンター、半導体パッケージ、エッジデバイス）

- 成長戦略  
NXTRを軸に、業種×地域の全方位対応で需要変動に追従

### ■ 重点施策

#### ① 製品の機能強化

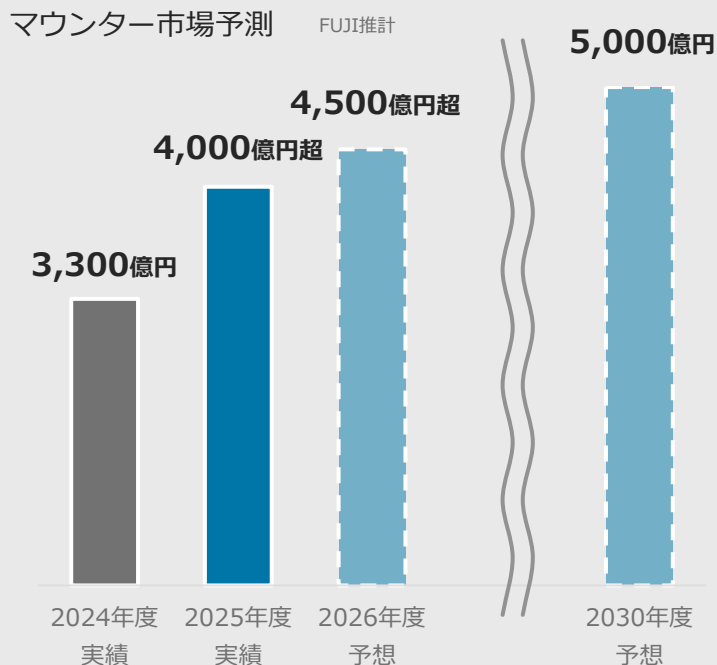
- ・ AIサーバー向けソリューションのさらなる拡充
- ・ SiP実装 高精度・高密度実装の対応強化
- ・ 自動化ソリューション対応工程の拡大



016008M 部品と実用化部品のサイズ比較

#### ② 製品の安定供給

- ・ 需要変動に対応する安定生産体制の構築
  - 人とロボットの最適分担
- ・ 機会損失を防ぐための在庫確保



# 半導体製造装置（ダイボンダ） 市場環境と成長戦略

## ■ 市場環境

AI需要により、汎用メモリ市場回復  
高付加価値領域のハイブリッドボンダ市場拡大見込

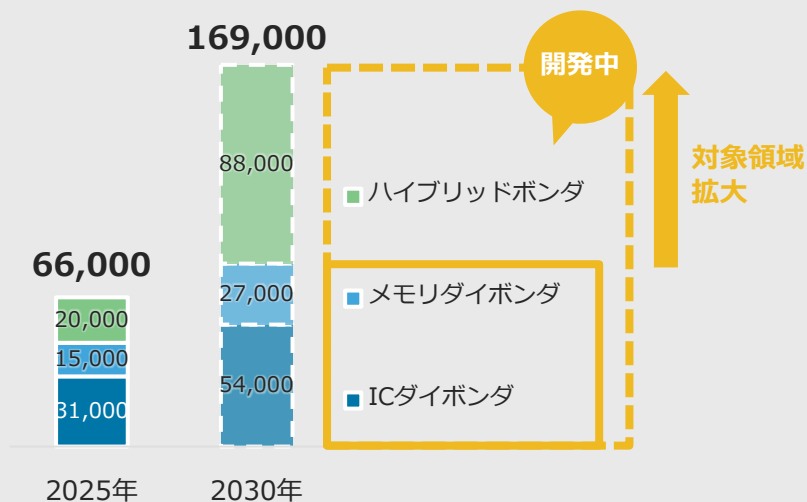
## ■ 成長戦略

汎用メモリ・IC向けのシェア拡大  
ハイブリッドボンダ市場への参入

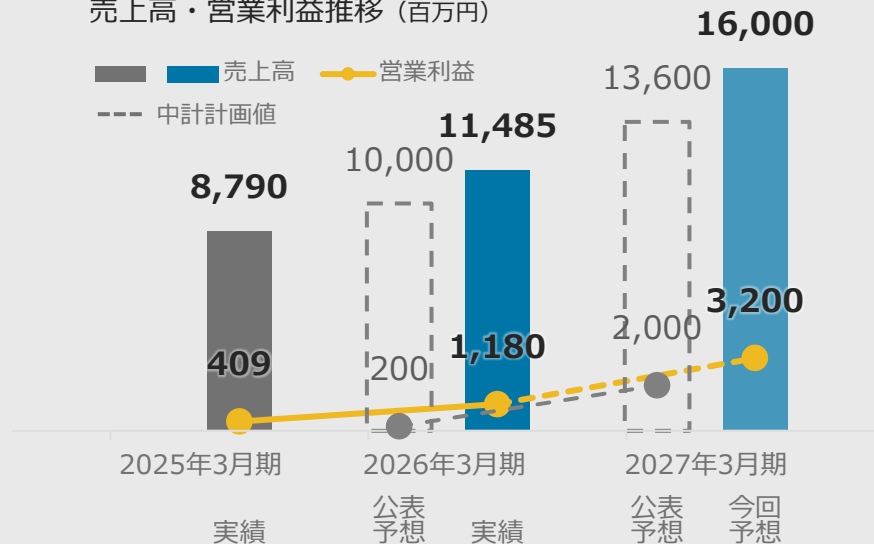
## ■ 重点施策

2026年度：高精度機の市場投入  
2027年度以降：ハイブリッドボンダの顧客評価開始

ターゲット市場予測（百万円） FUJII推計



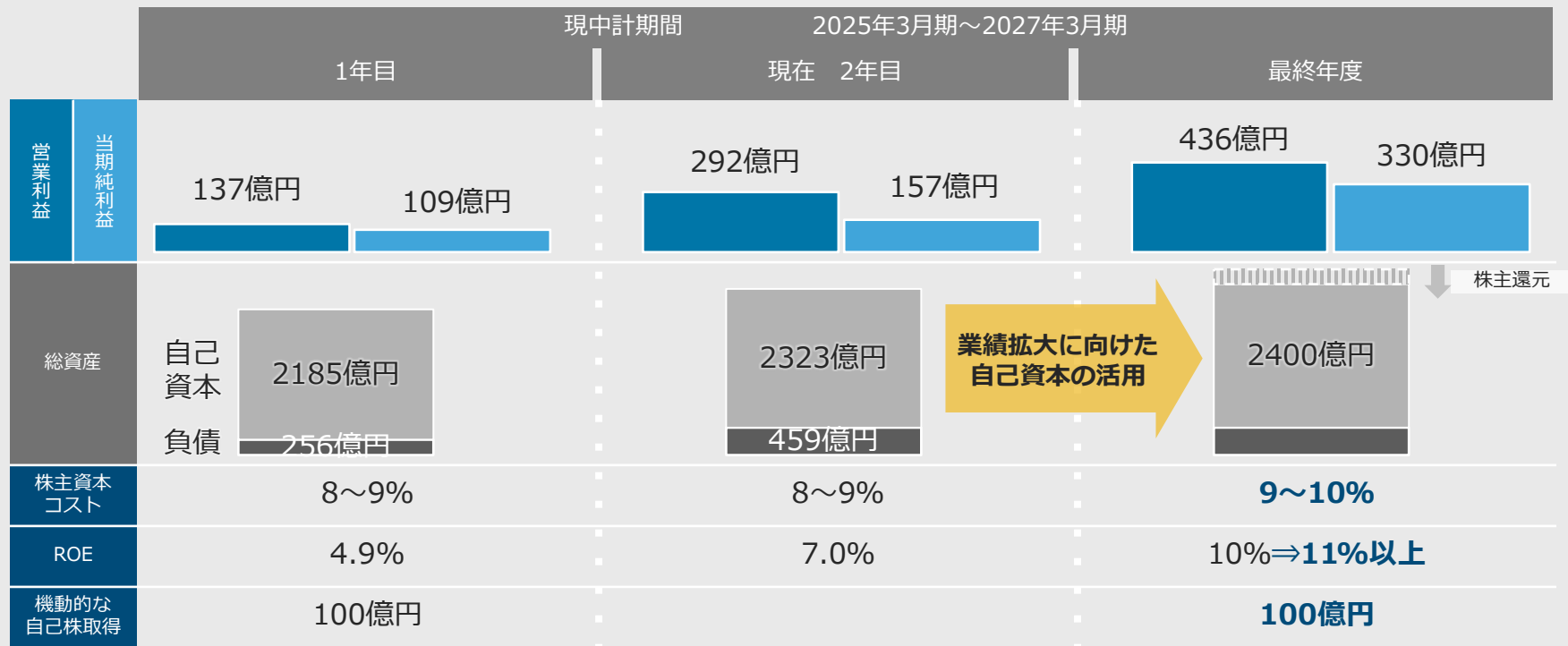
売上高・営業利益推移（百万円）





# 資本効率を重視した経営

- 業績拡大に伴い自己資本を増やす
- 今期は機動的に100億円の自社株取得を計画



# キャピタルアロケーションの見直し

- 営業CF拡大を背景に、業績拡大に向けた運転資本配分と株主還元を強化
- 成長投資は計画通り進捗、M&Aは必要に応じレバレッジ活用も視野に検討

## 当初計画

### キャッシュイン

**BSマネジメント**  
**200億円**

- 政策保有株式削減 70億円
- CCC改善 130億円

**営業CF**  
**1,000億円**  
(研究開発費控除前)

### キャッシュアウト

**成長投資**  
**700億円**

- 新たな成長分野・領域の拡大 250億円  
(資本業務提携・M&A含む)
- 既存事業領域の基盤維持 450億円

**株主還元**  
**390億円～**

- 配当 240 億円～
- 自己株式取得 150 億円～

### キャッシュイン

**M&Aは必要に応じ  
レバレッジ活用**

**BSマネジメント**  
**100億円**

- 政策保有株式削減 実績：80億円

**営業CF**  
**1,150億円**  
(研究開発費控除前)  
実績：488億円

## 今回計画

### キャッシュアウト

**成長投資**  
**700 億円～**

実績：425億円

- FUJII岡崎工場増改築
- 成長領域(AIサーバー・SiP・モジュール部品)に向けたマウンター開発
- スマートファクトリー開発
- オープンイノベーション活用 (スタートアップ・他社協業等)
- ハイブリッドボンダ開発
- データドリブン経営に資するDX投資
- サステナビリティ投資
- 既存事業領域の基盤維持

**事業規模拡大に向けた運転資本の増加 200億円**

**株主還元**  
**470 億円**

実績：244億円

- 配当 270 億円  
実績：144億円
- 自己株式取得 200 億円  
実績：100億円

# 04 | Appendix



# 会社概要

会社名	株式会社 F U J I（旧社名 富士機械製造株式会社）
創業	1959年4月
本社所在地	愛知県知立市山町茶碓山19番地
代表者	代表取締役社長 五十棲 丈二
資本金	5,878百万円（2026年3月末現在）
売上高	180,642百万円（連結、2026年3月期）
従業員数	3,132名（連結、2026年3月末現在）
主要製品	電子部品実装ロボット（マウンター）、工作機械、半導体製造装置
上場株式市場	名古屋証券取引所 プレミア市場 東京証券取引所 プライム市場 （証券コード：6134）

# 沿革



- 電子部品自動挿入機 BA 完成



- モジュール型高速多機能装着機 NXT 完成



Quist

- パブリックストッカーシステム Quist 完成
- 移乗サポートロボット Hug 完成



Hug

- FUJI Smart Factory Platform NXTR Sモデル 完成



- 拡張型オールインワン装着機 AIMEXR 完成

1959年

1978年

1994年

2003年

2013年

2016年

2018年

2019年

2022年

2023年

2024年

工作機械

電子部品実装ロボット

新規事業

半導体製造装置

- 富士機械製造株式会社 設立



FS型単能機

- 超高速装着機 CP-6 完成



- 東京証券取引所市場 第一部上場

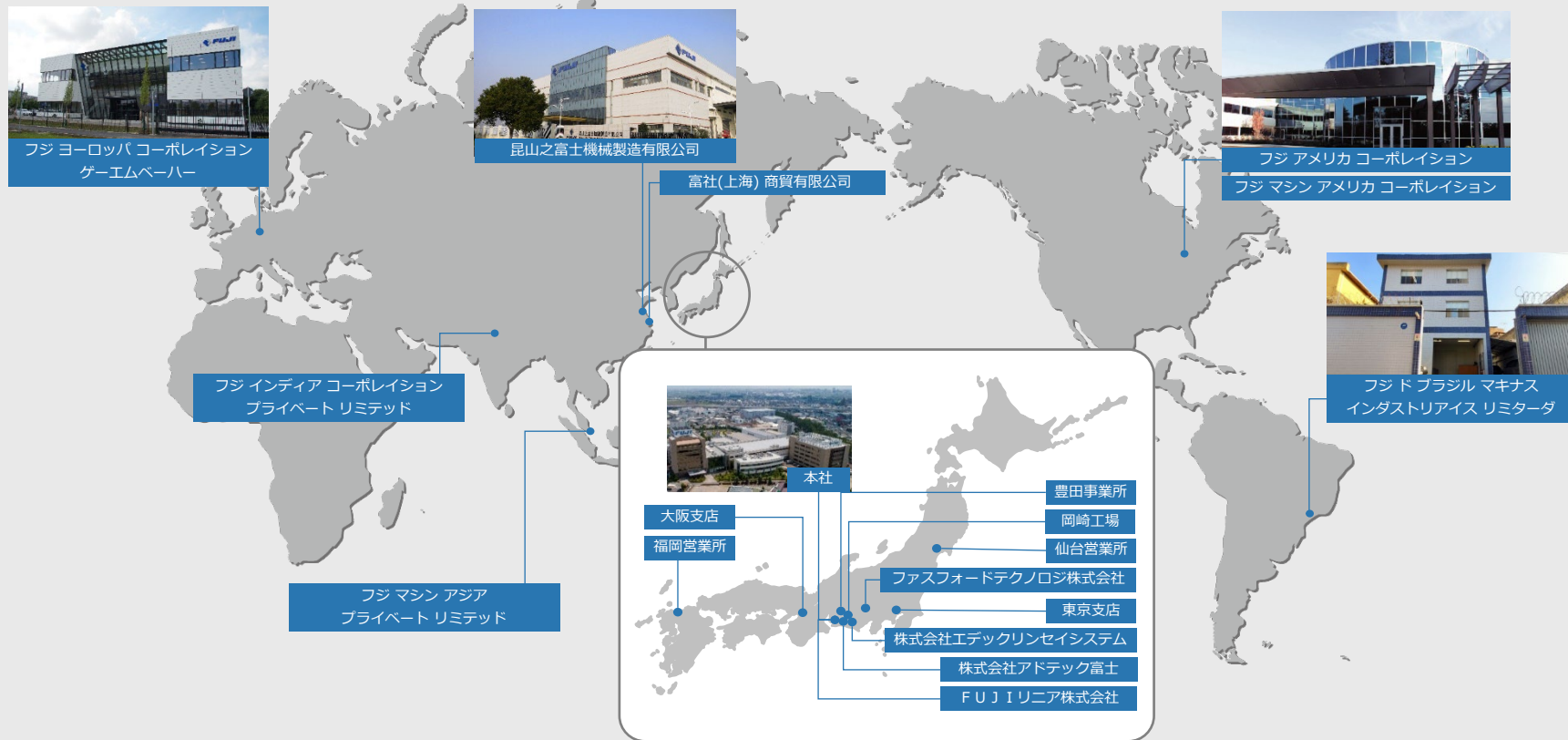
- 株式会社 F U J I へ社名変更
- ファスフォードテクノロジー株式会社を連結子会社化

- FUJI Smart Factory Platform NXTR Aモデル 完成



- 岡崎新工場棟 竣工
- 複合旋盤 ACUFLEX 完成

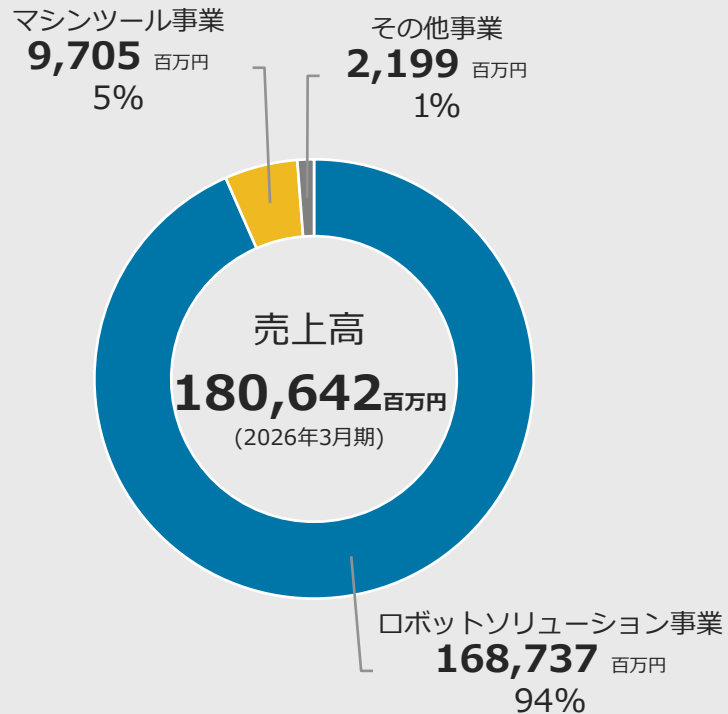
# 国内外拠点





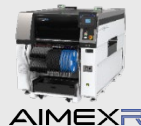
# 事業概要

ロボットソリューション事業が9割を占める



## ロボットソリューション事業

電子部品  
実装ロボット  
(マウンター)



半導体製造装置  
(ダイボンダ)



ライフサポート



## マシンツール事業

工作機械  
(旋盤)



# マウンターとは

- 表面実装技術 = Surface Mount Technology (SMT)  
…電子部品をプリント配線板の上に正確に並べる
- マウンター = (表面) 実装する機械
- 最小で0.16mm×0.08mmの部品を高速・正確に実装
- F U J I のマウンターは極小部品を1秒間に16個並べる  
ことができる

マウンター「NXTR」



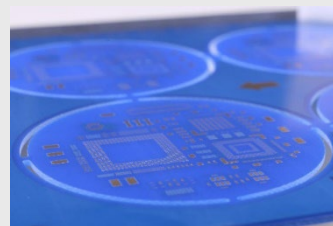
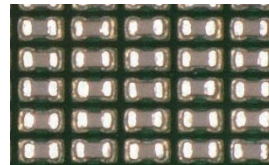
NXTR



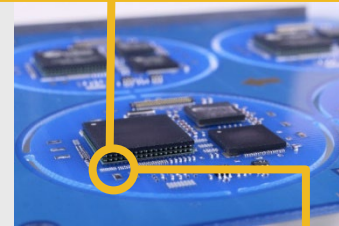
チップ型電子部品

実装精度 ±10μmの誤差

部品間の隙間 X=0.05mm Y=0.05mm

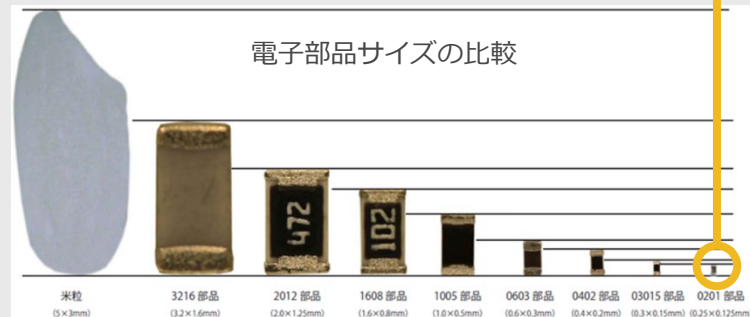


プリント配線板（実装前）



電子基板（実装後）

電子部品サイズの比較



# 電子製品製造におけるFUJIのかかわり

## 材料形成 部品加工

- ・電子部品メーカー
- ・基板メーカー
- ・はんだメーカー



## 電子基板 製造

### お客様



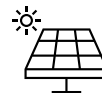
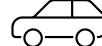
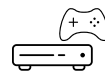
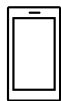
- ・EMS\*
- ・自動車部品メーカー  
Tier1、Tier2 など

## 製品組立

- ・各種メーカー



## 最終製品



### 表面実装工程



NXTR PM  
FUJI Smart Factory Platform



GPX-C



NXTR  
FUJI Smart Factory Platform



AIMEXR



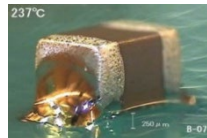
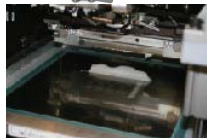
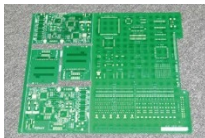
印刷機

検査機 (SPI)

マウンター

検査機 (AOI)

リフロー



プリント配線板

はんだペーストを印刷

電子部品を並べる

リフロー炉で加熱

電子基板完成

\* EMS : Electronics manufacturing serviceの略称で、他社の製品の製造を請け負う企業・サービスのこと。

# FUJIの強み

## ■ 技術力

- ・ モーター、サーボ、画像処理などのコア技術を全て自社開発



## ■ モジュールコンセプトに代表される独創的な製品開発

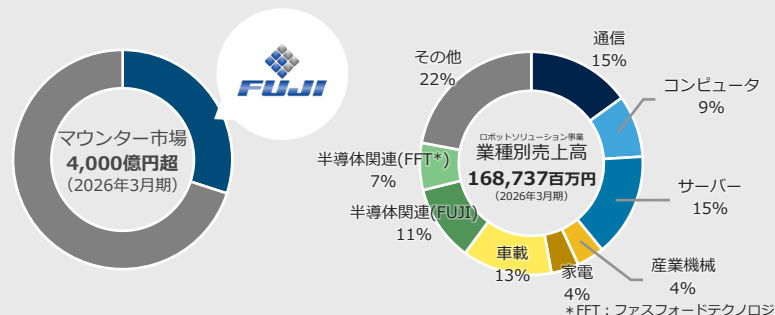
- ・ 国内外特許登録件数 7,000件以上 (2026年3月末時点)
- ・ 受賞歴

2014年 「第6回ロボット大賞 経済産業大臣賞」  
 2016年 平成28年度全国発明表彰「文部科学大臣賞」  
 2018年 第50回市村産業賞「功績賞」



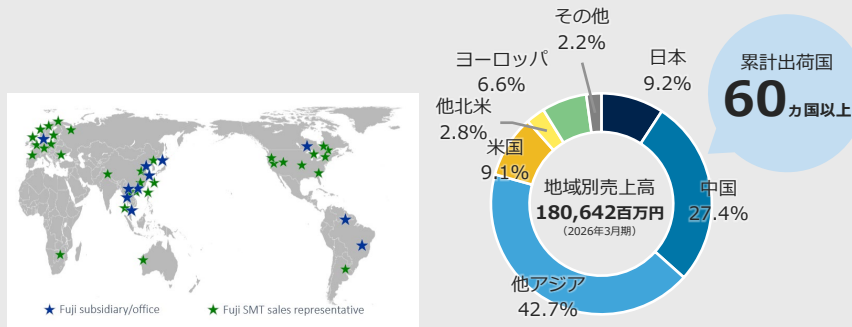
## ■ 世界シェア: トップクラス

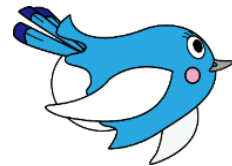
- ・ 幅広い業界・業種の顧客層



## ■ 世界中のセールス・サービスネットワーク

- ・ 各地域のお客様に寄り添い生産をサポート





### 【本資料お取り扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

### 【 IRに関するお問い合わせ】

株式会社 F U J I 経営企画部 IR担当

E-mail : [irsr@fuji.co.jp](mailto:irsr@fuji.co.jp)

Webサイト : <https://www.fuji.co.jp/ir/>

